

研修医だより

● 外科研修医セミナー

2021.06.09

▶ 研修医 1 年目 M.T (旭川医科大学卒)

こんにちは！研修医 1 年目の M.T です。

研修が始まって 2 ヶ月が経過し、少しずつ日々の業務にも慣れてきました。右も左もわからない状態は相変わらずなのですが、日々 2 年目の研修医の先生や上級医の先生にご指導いただいて奮闘しています。北見赤十字病院での研修はセミナー等もとても充実しています。今回は 4 月に行われた「外科研修医セミナー」についてご紹介します。

「外科研修医セミナー」は外科指導医の先生方が企画してくださり、必修である外科研修が不安なく始められるよう、「真皮埋没縫合」、「消化管機械吻合」、「腹腔鏡操作」の 3 つをテーマに行われました。一線で働く外科医の先生方や 2 年次研修医から直接指導を受けながら、手術で実際に使用するステープラを用いて消化管吻合のハンズオンを行ったり、腹腔鏡カメラ操作のコツや、縫合の技術を丁寧に教えていただきました。

まずはテーマについて、基礎知識と基本操作について学び、その後チームに分かれ、実際に機器等を用いて手技の練習、機械吻合のデモ、内視鏡操作のデモを行います。

各ブースには①真皮埋没縫合、② 消化管機械吻合、③-1 30 度斜視硬性鏡、③-2 軟性鏡 (=フレキシブルスコープ) の準備がされています。



①真皮埋没縫合のタスク

真皮モデルを用いて、実際に臨床で使用する縫合針・縫合糸で、「真皮埋没縫合」を行います。

皮膚モデルを使用し、指導医の指導のもとで丁寧に練習を進めました。指導医の縫合が目の前で見られ、また、気軽に質問できることで楽しく学ぶことができました。その他の縫合手技や結紮手技なども行いました。



②消化管機械吻合のタスク

腸管モデルを用いて、実際に臨床で用いるステープラ（リニア&サーキュラー）で、「機能的端々吻合 FEEA(= functional end-to-end anastomosis)」と「直腸 DST(= double stapling technique)吻合」を行います。

- 1 : FEEA のリンパ節郭清と腸管切離までを行う…リニアステープラ 2 発
- 2 : FEEA の吻合操作（挿入孔作成、側々吻合、挿入孔閉鎖）を行う…リニアステープラ 2 発
- 3 : DST のリンパ節郭清と腸管切離までを行う…リニアステープラ 1 発+巾着縫合
- 4 : DST の吻合操作（アンビルヘッドの挿入、巾着縫合糸の結紮、肛門からの吻合）を行う…巾着縫合糸の結紮、サーキュラーステープラ 1 発



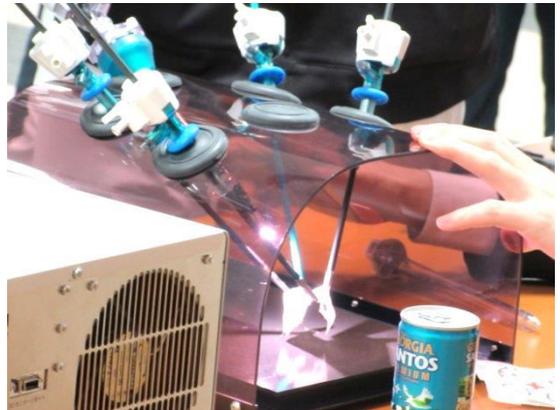
③-1 30度斜視硬性鏡のタスク

- i、カメラワークの習得①：対象物を様々な角度から見て、カメラワークを習得する。
- ii、カメラワークの習得② + 鉗子操作の習得①：術者・助手が把持するキャラクターのついた布を正面視し、カメラワークを習得する。
- iii、カメラワークの習得③ + 鉗子操作の習得②：術者、助手、スコピストと協力し、布に太マジックで書かれた正方形を、太マジックからはみ出ないように内視鏡用ハサミで型抜きする。



③-2 フレキシブルスコープのタスク

③-1 で硬性鏡を用いて行った操作を、フレキシブルスコープで行う。



手技に関しては自分で本を読んで勉強していてもイメージがつかめないことが多いのですが、このように上級医の先生に直接手技を教えていただいたおかげで実践的なことを学ぶことができました。また、実際の機器に触れて体験することで、手技の意味やメカニズムを理解することができ、これから外科研修を行うにあたり、とても有意義で貴重な機会となりました。研修医室にも腹腔鏡操作の練習ができるキットがあるので、今回教えていただいたことを無駄にすることのないよう精進します！！外科の先生方、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

次回は7月に「エコー下血管穿刺のハンズオンセミナー」が開催予定となっています。

